

令和6年10月14日

東京都連盟加盟団体 様

東京都ボクシング連盟

会 長 瀬尾 兼秀

審判長 山崎 哲男

今回、下記に記載された計量の不正行為の報告がありました。

この不正行為はボクシングの根幹に及ぶ重大な事案と認識しております。アマチュアスポーツの精神である人間育成から離脱し、勝利至上主義の最たるもので、アマチュアスポーツの精神およびボクシング競技をも踏みにじる行為であります。なおかつ、5Kgもの体重差は事故に繋がる恐れも排除できません。

つきましては、このような事が2度と起きないように、指導者、保護者等関係者は今一度よくご認識いただき、選手の人間育成、ボクシング競技の発展につながるご指導をよろしくお願いいたします。

計量の不正行為

第11回全日本UJ王座決定戦大会東海ブロック予選大会での計量時に不正行為が行われました。内容としては、当該選手が母親の指示によりパンツの中に2.5Kgの錘（おもり）を仕込み、計量に臨んだというものです。当該選手は31Kg級（28Kg超 31Kgまで）の選手でしたが実際は26Kgしかなく、母親は下限がある事は知らずに体重が軽いが故に対戦相手に舐められるのでは、と考えこの不正を行ったとの事でした。計量の際に担当役員が異常に気付きテーピングされた錘（おもり）を発見し、事なきを得たというのですが、保護者からの聞き取りの中で、県大会の際にも同様に錘（おもり）を仕込んでいたとの事が確認されました。